

# 事業計画書

## 1 事業名称 新年会（1月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：月館 洋一

## 2 事業要項

### 事業背景

新年会は2017年度のビジョンを、対外的に示す重要な事業であります。また、新体制を披露し、そして地域に根ざしたJC運動をアピールすることで、三沢市及び近隣の皆様、他LOMから今までと変わらぬご支援・ご協力を得るための懇親の場でもあります。

### 目的

**対外：**2017年度の三沢青年会議所の新体制を伝え、方向性を示し、多くの方からご理解とご協力を得られるよう努めると共に、日頃お世話になっているシニアクラブ会員・ご来賓並びに来訪JCと親睦を深め、繋がりを一層強固なものにすることを目的と致します。更には、メンバー一人ひとりが積極的に三沢青年会議所運動をアピールすることを目的と致します。

**対内：**2017年度理事長を筆頭とした新体制で、ご来賓並びに来訪JC、シニアクラブ会員をおもてなしの心でお迎えし対応することによって今年度のJC運動への意欲を高めること、そして、メンバー間の親睦を深めることを目的と致します。

## 3 事業概要

実施期間	1月26日（木）	事業予算額	¥72,026
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■シニアクラブ会員 123名 ■来賓 101名  
■来訪JC 40名

### 事業内容

- 例会セレモニー  
17:00～18:00
- 2016年度理事者会議・2017年度第1回理事者会議
- 新年会 18:30～20:30
  - ・オープニングアトラクション
  - ・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯
  - ・全メンバーにてご来賓・シニアクラブ会員・来訪JCの接待
  - ・2017年度役員紹介

# 事業計画書

## 1 事業名称 第1回通常総会

担当委員会：総務委員会

委員長：月館 洋一

## 2 事業要項

### 事業背景

1月の通常総会は、2016年度の事業報告書と収支決算書の承認を会員全員より頂く為の総会であります。2017年度理事者が正式に承認され、新たなスタートを切るために実施致します。

### 目的

**対外：**2016年度の活動についてシニアクラブ会員にご理解をいただきます。

**対内：**通常総会にて、2016年度の事業報告並びに収支決算書を確認し、承認をいただきます。

## 3 事業概要

実施期間	1月31日（火）	事業予算額	¥103,400
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■シニアクラブ会員 123名

### 事業内容

- 第1回通常総会  
19:00～20:00
  - ・2015年度監査報告
  - ・第1号議案 2015年度事業報告承認の件
  - ・第2号議案 2015年度収支決算書承認の件
  - ・第3号議案 その他

# 事業計画書

1 事業名称 公選理事候補者選挙（7月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：月館 洋一

## 2 事業要項

### 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所2018年度の新体制を決める為、理事長候補者・監事候補者のお披露目と共に、理事者の選任を公選理事候補者選挙として行います。

### 目的

対外：なし

対内：次年度理事長並びに次年度監事のお披露目、そして理事者を選挙で選任することにより、新たなスタートへ向けての準備態勢に入る場とすることを目的と致します。また、メンバー間の交流を深め下半期の運動に向けて更なる団結力強化を図ることを目的と致します。

## 3 事業概要

実施期間	7月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名

### 事業内容

- 例会セレモニー  
18:30
- 公選理事候補者に関する期日及び公示  
公選理事候補者は、6月理事会後4日間、三沢青年会議所事務局内に公示し、正会員の閲覧に供する。
- 次年度公選理事候補者選挙
  - 投票立会人は、選挙管理委員会が行う。
  - メンバーを4名ずつ投票所へと誘導し、立会人より公選理事候補者投票用紙を受取り記入後、投票箱に投函する。
  - 理事長候補者より、挨拶をして頂く

# 事業計画書

1 事業名称 第1回臨時総会（9月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：月館 洋一

## 2 事業要項

### 事業背景

理事長候補者、監事候補者、そして公選理事候補者選挙にて当選した公選理事候補者、理事長候補者の指名を受けた補充理事候補者を総会での選任のもと、理事長予定者・理事予定者とし次年度に向けての第1歩として重要な総会である。

### 目的

対外：2018年度の理事長候補者・監事候補者・理事候補者を選任し、シニアクラブ会員にお披露目することにより、次年度へ向けての準備が順調に進んでいることをアピールすることを目的とする。

対内：次年度の理事候補者を総会で選任することにより、メンバー全員に次年度の準備に入るという意識を持っていただくと共に、シニア会員との親睦を深めることを目的とする。

## 3 事業概要

実施期間	9月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■シニアクラブ会員 123名

### 事業内容

- 例会セレモニー  
18:00
- 第1回臨時総会
  - 第1号議案：理事長候補選任の件
  - 第2号議案：監事候補選任の件
  - 第3号議案：公選理事候補選任の件
  - 第4号議案：補充理事候補選任の件
  - 第5号議案：その他
- 懇親会  
19:30

# 事業計画書

1 事業名称 卒業式・忘年会・ロム褒賞授与式（12月例会）

担当委員会：総務委員会

委員長：月館 洋一

## 2 事業要項

### 事業背景

三沢青年会議所に貢献してきた卒業生の労をねぎらい、これまでの功績を讃え感謝の意を表すと共に、新たな歩みの門出として見送り致します。そして、一年間の締めくくりとして、今年度おこなってきた事業を振り返り、LOM褒賞として最優秀委員会賞、最優秀新人会員賞、最優秀会員賞の表彰をおこない会員の意識向上へ繋げていきます。また、三沢青年会議所の運動に対し、多大なるご支援とご協力を頂いているシニアクラブ会員の皆様へ一年間の感謝の気持ちを伝える場が必要となります。

### 目的

**対外：**卒業生が行ってきた運動の功績を讃えると共に卒業生のご家族にこれまでのご理解とご協力に感謝することを目的と致します。またシニアクラブ会員の皆様へ三沢青年会議所活動に対し、ご支援ご協力を頂いていることに対しての感謝の気持ちを伝え、交流を図る事を目的と致します。

### 対内：

【卒業式】卒業生より会議所運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えて頂くことで今後の青年会議所運動の励みになることを目的と致します。

【忘年会】会員一人ひとりが一年間を振り返りそれぞれの労をねぎらい、また新たな目標を持って次年度を迎えるための懇親の場となることを目的と致します。

【ロム褒賞】一年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的と致します。

## 3 事業概要

実施期間	12月	事業予算額	¥171,626
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■シニアクラブ会員 123名 ■来訪J C 40名  
■卒業生 6名 ■卒業生家族 7名

### 事業内容

#### ■例会セレモニー

17:30

#### ■卒業式

・卒業予定者：蛭名満、月館洋一、濱田繁男、藤田麻里子、  
小笠原信也、吉田敏宏

#### ■忘年会

#### ■ロム褒賞

・最優秀委員会賞、最優秀会員賞、最優秀新人会員賞の発表と表彰

# 事業計画書

## 1 事業名称 第20回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ）

担当委員会：青少年育成委員会

実行委員長：藤田 麻里子

## 2 事業要項

### 事業背景

1978年より「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ちゆくための糧になること」を目的として児童交歓事業調印式が行われ、以降40年間という長い歴史を刻んだ本継続事業も、第20回目を迎えるまでとなり、青少年育成運動に大いに貢献してきた継続事業であると考えます。

### 目的

**対外：**寒冷な気候の青森県三沢市と、温暖な気候である沖縄県沖縄市に生活する人々の歴史・風土・生活環境、習慣の違いを肌で触れ肌で感じ、三沢・沖縄の児童が友情を育み本事業を通じて人に感謝する心を学ぶことを目的とする。

**対内：**三沢・沖縄児童交歓という歴史ある本事業を通じ、三沢青年会議所メンバー間の団結力を高めるとともに、姉妹JCである沖縄青年会議所との繋がりを深め、今後の青少年育成運動に繋がる事業にすることを目的とする。

## 3 事業概要

実施期間	平成29年2月9日（木）～13日（月）	事業予算額	¥690,508
実施場所	青森県近隣及び三沢市内		

### 参加員数計画

- 会員 25名
- 沖縄青年会議所会員 10名
- 三沢青年会議所シニアクラブ 10名
- 教育関係者 6名
- 三沢児童 10名
- 沖縄児童 10名
- 参加児童保護者 20名

### 事業内容

- 例会セレモニー  
平成28年 2月 7日（火）17:00～18:00
- オリエンテーション  
1回目：平成29年 1月20日（金）18:00～  
2回目：平成29年 1月27日（金）18:00～  
3回目：平成29年 2月 3日（金）18:00～  
4回目：平成29年 2月 7日（金）18:00～
- 第20回三沢・沖縄児童交歓事業（迎え入れ）  
1日目：歓迎会、ホームステイ  
2日目：各児童の学校訪問体験、スキー場でのオリエンテーション  
3日目：スキー場での雪国体験、白鳥鑑賞、ホームステイ  
4日目：自由行動（各家庭に一任）、送別会、ホームステイ  
5日目：意見発表会、帰路、到着式

# 事業計画書

## 1 事業名称 ドリー夢メイカー 命の授業（10月例会）

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：木村 博幸

## 2 事業要項

### 事業背景

近年、情報やモノに溢れ便利な世の中となる一方で、コミュニケーションやモラルの低下など、社会に問われる様々な問題が浮彫りとなっています。恵まれた環境で日常を過ごすことができる有難さや、感謝の気持ちを抱き、自立した力と生きる力を持った次代を担う青少年の育成が益々必要となっています。

### 目的

**対外：**命の大切さを学び、感謝・尊敬・思いやりの心、互譲互助の精神を醸成し自立する力や、生きる力を養うことを目的とする。

**対内：**命の大切さを学び、青少年の健全な育成と青少年育成にかかわる教育関係者、保護者への発信を目的とする。

## 3 事業概要

実施期間	10月10日（案）	事業予算額	¥611,432
実施場所	三沢市内中学校5校、事務局（セレモニー）		

### 参加員数計画

- 会員 25名
- 中学生、教育関係者 1,200名
- 講師・指導者 1名

### 事業内容

- 例会セレモニー  
12:00～12:30（10月10日）
- 命の授業（案）  
10月10日～11日の2日間  
講演 1校あたり2時間 13:00～15:00  
講師：腰塚 勇人（こしづか はやと）氏  
・命の大切さ、如何なる困難にも負けない心、自分を支えてくれる人々への感謝の心、夢を持つことの大切さ等、自分の体験を通して授業形式で講演頂き成長段階の子供たちに、授業という形で講話をいただき、生きる力を養い次代を担う自立した青少年の育成する。  
講演会場については、三沢市内中学校5校すべてを想定

## 事業計画書

1 事業名称 まち、ヒトの魅力、再認識！～未来につなげるまちづくり～（6月例会）

担当委員会：地域活性化委員会

委員長：吉田 敏宏

### 2 事業要項

#### 事業背景

先人、先達から受け継いだこの三沢は数多くの魅力があふれる地ですが、近年このまちも他の地方社会と同じく、人口減少や少子高齢化、情報社会の進展などの環境変化により地域の活力が失われつつあります。地域の活力を取り戻すためには、まちを知ること、人と人を結びつけること、情報を伝えることが必要です。まちを知り、この多くの住民に三沢の魅力を伝え、人と人を結びつけることにより、未来へ向け、より発展させるまちづくりに繋げていかなければなりません。

#### 目的

**対外：**地域の方々に、まちを知っていただき、さらに人と人を結びつけ、地域の魅力や新しい地域ブランド、新たな地域活動を産み出すことを目的とする。

**対内：**事業を通じて活力あるまちづくりに貢献する運動を実施している団体であることを地域の方々に認知していただき、青年会議所が地域の活力を生み出すリーダーとして率先的に行動することを目的とする。

### 3 事業概要

実施期間	6月24日（土）	事業予算額	¥381,878
実施場所	三沢市公会堂集会室（セレモニー及び講師例会）		

#### 参加員数計画

■会員 25名 ■講師 3名 ■三沢市役所職員 1名

■農業関係者 40名 ■一般企業 160名

■まちづくり団体、町内会、一般市民等 175名

#### 事業内容

- 例会セレモニー  
12:30～13:00
- 第一部：特別講演 14:00～15:00  
・講師：特定非営利活動法人としまNPO推進協議会 柳田好史様  
テーマ『地域課題を解決するコミュニティビジネス（仮）』  
地域課題を解決する手法として注目されている「コミュニティビジネス」について
- 第二部：ワークショップ 15:00～17:00  
私たちが暮らす地域の中には様々なまちづくりの活動と各々の課題があり、それらの課題をテーマにワークショップを実施する。  
各団体のまちづくり活動の内容について理解を深め、人と人を結びつけ、新たな魅力を生み出す。

## 事業計画書

1 事業名称 第二回異業種交流会～地域経済を活性化させるビジネスの可能性～（2月例会）

担当委員会：地域活性化委員会

担当：月館 洋一

### 2 事業要項

#### 事業背景

未来の地域経済は、人口減少や新興国の拡大する産業のグローバル化によって衰退化という課題を抱えております。この激変する動きに対応していくために地域企業は「新たな一手」となるべき戦略を構築し実行していかなければなりません。業界の常識にとらわれず地域の異業種間の繋がりによって、業種の枠を超えた新たな視点や発想が注がれ「新たな一手」の創出につながるものと考えます。

#### 目的

**対外：**地域企業の連携により更なる事業拡大と異業種間の積極的な連携を創出することを目的とする。

**対内：**多くの青年経済人と繋がりを持ちネットワークの拡大を目的とする。

### 3 事業概要

実施期間	4月26日（水）	事業予算額	¥38,432
実施場所	きざん三沢		

#### 参加員数計画

■会員 25名 ■講師 2名

■一般企業及びNPO法人、一般 70名

#### 事業内容

- 例会セレモニー  
18:30～19:00
- 第一部：特別講演 19:00～20:00  
講演：野村証券 王前 洋司  
テーマ『地域経済を活性化させるビジネスの可能性』  
野村証券で培った経済の分野に精通しており、自分の経験や経済学という観点から地域経済についての講演を予定
- 第二部：名刺交換会 20:00～21:00  
参加者間の交流、異業種間のつながりを創出することを目的として、名刺交換会を実施する。

# 事業計画書

## 1 事業名称 第37回三沢国際サマーフェスティバル事業（8月例会）

担当委員会：地域活性化委員会

実行委員長：小笠原 信也

## 2 事業要項

### 事業背景

わがまちには米軍基地が存在し、それにより国際色豊かなまちへと変貌を遂げ、近年では、中心市街地は都市開発により変化しました。一方で少子高齢化による若年人口の減少など多くの課題を抱え、まつり参加者も例年減少の一途をたどっている状況であります。地域の人々により身近なまつりとするべく、多くの市民に参加頂き、まちの活力を取り戻す為に、関係諸団体と連携・協力し官民一体となって三沢まつりを推進することで、三沢市の経済の発展に貢献していかなければなりません。

### 目的

**対外：**年齢や国籍を問わず、より多くの市民に参加して頂くことで地域の繋がりを深め、市民のパフォーマンスの場を通じて地域の活力を創出することで、文化と観光及び産業の振興に繋げることを目的とする。

**対内：**関係諸団体との連携を密にすることで明るい豊かな社会を築くため協力し、会員一人ひとりのJC運動に対する意識向上を目的とする。

## 3 事業概要

実施期間	8月25日（金）～8月27日（日）	事業予算額	¥2,258,630
実施場所	アーケード商店街（広瀬G.S前）～基地ゲート前、及びアメリカ広場		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■一般参加者 600名

### 事業内容

- 8月24日（木）  
ステージ設営、テント・テーブル搬入、全体会議
- 8月25日（金）  
会場設営、ステージイベント運営、会場片付け
- 8月26日（土） 主催事業  
セレモニー（商工会館）、会場設営、参加団体配置、事業開始、会場片付け
- 8月27日（日）  
会場設営、ステージイベント運営、会場撤収
- 8月28日（月）  
ステージ撤去、テント等返却

# 事業計画書

## 1 事業名称 8月例会における収益事業

担当委員会：地域活性化委員会

実行委員長：小笠原 信也

## 2 事業要項

### 事業背景

三沢国際サマーフェスティバル（公益事業）を継続的に行なっていく為にも、これに対する収益事業を実施する必要がある。

### 目的

**対外：**販売を通じたコミュニケーションを図ることで、JC運動を広くアピールする。

**対内：**収益事業を実施することで、三沢国際サマーフェスティバル（公益事業）の収入基盤を強化する。

## 3 事業概要

実施期間	8月25日（金）～8月27日（日）	事業予算額	¥235,000
実施場所	アメリカ広場		

### 参加員数計画

■会員 25名

### 事業内容

- 三沢祭りイベント会場にて、ドリンクブースを3日間設営  
メンバーにて販売  
※酒類、ジュース等
- 売上目標は、¥380,000とする。  
2016年度参考：売上353,340円、利益139,510円

# 事業計画書

1 事業名称 第26回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント事業（5月例会）

担当委員会：東北青年フォーラム運営会議 委員長：附田 一仙

## 2 事業要項

### 事業背景

40年間という長きに亘り、(公社)三沢青年会議所と(一社)沖縄青年会議所が共同し、継続して来た三沢・沖縄児童交歓事業という素晴らしい青少年育成事業があります。家庭の負担を減らし多くの方に参加していただくために、チャリティー事業を行い基金造成に繋げなければならない。

### 目的

対外：三沢・沖縄児童交歓事業への理解をしていただき、(公社)三沢青年会議所の運動を共鳴することを目的とします。

対内：会員一人ひとりの相互扶助の精神を今以上に強固にし、JAYCEEとしてJC運動に対する意義や理念の資質向上を目的と致します。

## 3 事業概要

実施期間	5月26日(金)・28日(日)	事業予算額	¥2,104,000
実施場所	例会：三沢市商工会館3階 事務局 ゴルフトーナメント：米軍三沢基地内ゴッサーマモリアルG.C 表彰式・懇親会：米軍三沢基地内(将校クラブ)		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■シニアクラブ会員 20名  
■各地会員会議所 20名 ■一般市民及び関係諸団体 104名

### 事業内容

■例会セレモニー  
5月26日(金) 19:30~20:00  
■全体会議  
5月26日(金) 20:00  
■第26回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント事業  
5:00~12:30  
参加者送迎、参加者受付、事業開始、集計、賞品準備  
■懇親会及び表彰式  
13:00~15:00  
懇親会、表彰式、参加者送迎、撤収

# 事業計画書

1 事業名称 市長懇談会～三沢青年会議所活動報告会～（3月例会）

担当委員会：三役

専務理事：新堂 友和

## 2 事業要項

### 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、三沢市の発展に寄与し将来のリーダーを育成するべくまちづくり運動を展開しており、行政と協力・連携し、活性化を図っていかねばなりません。名誉顧問である種市市長に我々の運動に対する理解を深めて頂くと共にご協力頂けるように活動報告の機会を設け懇親の場が必要です。

### 目的

**対外：**三沢青年会議所の名誉顧問である種市市長に、これまでの事業活動を報告し具体的にご説明する。さらに、2017年度の事業計画をご紹介し今年度の活動を知って頂くとともに、我々の運動へ対する理解を深めて頂く。そして、市政の報告や展望などの方向性を共有することで、相互間の協力体制や連携を強化し、活動に反映できるようなることを目的とする。

**対内：**三沢青年会議所の事業紹介を通じて、2017年度一年間の事業PRができ、我々が地域にとって必要な人材であり団体であるという認識をして頂けるよう、全力でアピールすることを目的とする。

## 3 事業概要

実施期間	3月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■三沢市長 1名 ■秘書 1名

### 事業内容

#### ■例会セレモニー

17:30～17:50

#### ■市長懇談会～三沢青年会議所活動報告会～

各委員会ごとに事業を分類し、パワーポイントを用いてこれまでの事業活動を紹介する。さらに、2017年度の事業計画を各委員長よりご紹介する。市長や我々にとっても、これまでの歴史を振り返り事業の経緯や今に至る現状などの把握に努める。事業を継続し発展させることで、地域や市民に還元し人材育成に繋がることでまちづくりに貢献しているという方向を示す。

# 事業計画書

1 事業名称 金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会（11月例会）

担当委員会：三役

専務理事：新堂 友和

## 2 事業要項

### 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、1963年（昭和38年）11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生いたしました。これまで、長い歴史を築いてこられた先輩諸兄が行った、当時の事業やご活躍を振り返りながら還暦等のお祝いを行い、シニアクラブ会員との交流が更に深めて行かなければなりません。

### 目的

**対外：**これまで歴史を繋いでこられた先輩諸兄に敬意を表し、感謝の気持ちとおもてなしの心でお迎えし、当時の活動風景を振り返りながらシニアクラブ会員及び現役メンバーでお祝いすることで、現役会員との更なる交流が深まることを目的とします。

**対内：**これまでの歴史や先輩諸兄が行ってきた事業を振り返り、歴史を学ぶ事で今後のJC運動の糧にすると共に懇親を深める事により、今後とも叱咤激励や運動に対するご協力を頂き、相談役としても関わり合いを持ちながら絆を深めて頂く場とする事を目的とします。

## 3

### 事業概要

実施期間	11月17日（金）（案）	事業予算額	¥97,220
実施場所	きざん三沢		

### 参加員数計画

■会員 25名 ■還暦対象者 4名  
■金婚式対象者 2名 ■米寿対象者 2名  
■シニアクラブ会員 123名

### 事業内容

#### ■例会セレモニー

18:00～18:30

#### ■金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会

- ・対象となる先輩のプロフィール紹介
- ・対象となる先輩及び家族の方へ、理事長より花束と記念品の贈呈

#### ■懇親会

- ・対象となる先輩の紹介
- ・対象となる先輩から現役当時の写真（パワーポイント）を見て頂きながら、当時の苦労や喜びの体験談等を語って頂く。
- ・質問時間を設ける